

コミュニティFM防災ラジオ

(AM/FM/緊急告知受信機)

コミュニティFM放送を利用した緊急放送自動受信システム

取扱説明書

Model 9ZQA35/9ZQA36

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管してください。

本機は、電源を接続した待機状態またはラジオ聴取時において緊急情報を補完的に受信するものであり、本機自体で災害による被害を予防し損害を回避するものではありません。従いまして、本機の不具合やお取り扱いの誤りなどにより情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について保証するものではありませんのでご了承ください。

取扱説明書番号 Z121-ZGXW (Y2007)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず実行していただくことを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かない所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池をショートさせない。
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池を充電しない。
●電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

禁止 濡れた手でAC電源アダプターにふれない
感電の原因になります。

禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる場所では使わない
感電やさびの発生、故障の原因になります。

禁止 ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

禁止 AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

必ず守る 本製品やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

禁止 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液にふれないようにして電池を外して布や紙でよくふき取ってください。

必ず守る ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

禁止 AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使用かたや、100V以外では使用しない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

禁止 雷が鳴り出したら、本製品やAC電源アダプターにふれない
感電の原因になります。

分解禁止 分解したり改造しない
火災や感電、故障の原因になります。

注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

必ず守る 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱、破裂の原因となり、けがや故障の原因になります。

必ず守る 使い切った電池は、すぐに取り出す
電池からの液漏れにより、故障や破損の原因になります。

必ず守る 落としたり、たいたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

プラグを抜く 長期間使用しないときは、AC電源アダプターの電源プラグを抜く
絶縁劣化やろう電により、火災の原因になります。

必ず守る 長期間使用しないときは、電池を取り出す
電池からの液漏れにより、故障の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プールや温泉場など、ガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと	●受信局は初期設定でチャンネル登録されています。
スピーカー	直径 7.8cm 丸型1W(8Ω) 1個	●受信周波数帯 FM 76.0～95.0MHz(0.1MHzステップ) AM 531～1620kHz(9kHzステップ)
時計部	クォーツ式デジタル時計 精度:平均月差±30秒 表示:12時間表示(AM/PM付)	●付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池の持続時間が仕様より短い場合があります。
出力端子	イヤホン端子(φ3.5mmミニジャック) 1個	●液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
入力端子	外部アンテナ端子(φ3.5mmミニジャック) 1個 DC入力端子 DC 7V 500mA	●液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
電源	単3形アルカリ乾電池(JIS規格LR6) 4個 AC電源アダプター DC 7V 500mA	●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
ライト(照明)	白色LED×1	
バックライト(液晶)	白色LED×1	
電池マーク	電池未セット、電池の残量少で点滅表示	
防滴防塵機能	防沫形 保護等級 JIS IPX4 相当	
本体寸法	約100(高さ)×150(幅)×46(奥行き) mm	
製品重量	約430g(電池を含み、AC電源アダプター含まず)	
電池持続時間(機能を単独で使用した場合の参考値)	ラジオ 約25時間(音量中位) 照明 約35時間	
(参考)AC電源アダプターを使用した状態での電気代	約30円/月(2017年11月での試算)	
		付属品 AC電源アダプター 1個 単3形アルカリ乾電池 4個 取扱説明書・保証書 本書

アフターサービスについて

アフターサービスは、次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、6年間を基準に保有しています。ケースなどの外装部品については、同等の代替品と交換させていただきます。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には修理工場との往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、居住地区の市町村とよくご相談ください。

●転居された場合
緊急放送自動受信機能はご使用になれませんが、AM/FMラジオとしてご使用いただけます。

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。例 9ZQA00

製造発元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて、居住地区の市町村にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名・型番	防災行政ラジオ(9ZQA35/36)	
保証期間	年 月より 1年間	
※以下はおお客様がご記入してください。		
お客様ご氏名	様	
ご住所		
TEL()	-	
本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。		

保証について

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の字句を書きかえられた場合。
3. 居住地区の市町村以外にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換
※ 送料・出張料は、実費をお客様にてご負担願います。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.

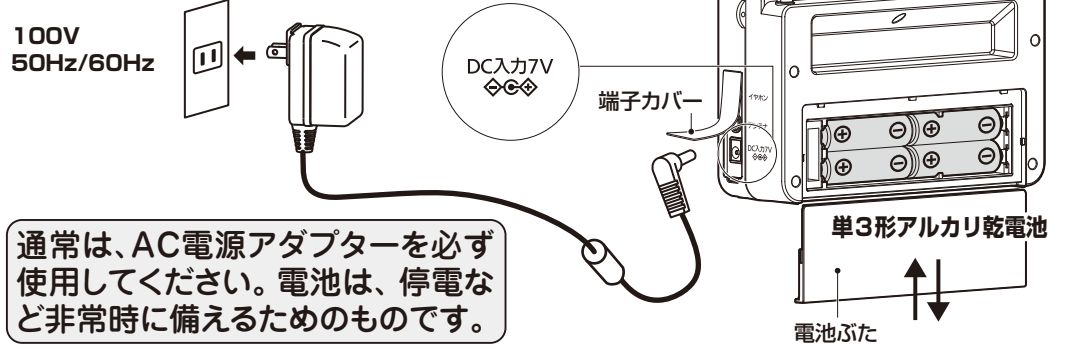
簡単! ご利用ガイド

本製品は、コミュニティFM放送を利用した緊急放送を自動受信するシステムです。緊急放送を受信するとLEDライトが点灯して、放送が流れます。正しくセットしてお使いください。裏面の説明と合わせてお読みください。

①電池を入れて、AC電源アダプターを接続します

- 1 本体裏面の電池ふたを外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を4個入れ、電池ふたを取り付けます。
- 2 端子カバーを開けて、AC電源アダプターをAC100Vのコンセントと本体のDC入力端子にしっかり差し込みます。

AC電源が接続されると液晶部にバックライトが点灯します。
※バックライトの効果は明るいところでは視認しにくいです。



通常は、AC電源アダプターを必ず使用してください。電池は、停電など非常時に備えるためのものです。

②時刻を設定します

- 設定** 電源投入直後の初期設定はAM12:00です。
- 1 時計表示状態で「設定」ボタンを2秒以上長押しします。
 - 2 「時」が点滅しますので「+」または「-」を押して、「時」を合わせます。「設定」ボタンを押すと「時」が確定します。
 - 3 「分」が点滅しますので「+」または「-」を押して、「分」を合わせます。「設定」ボタンを押すと「分」が確定します。
- ※「秒」は「分」を確定したときに0秒に設定されます。
※「+」「-」を2秒以上長押しすると、数字が早く変化します。

- * 時刻設定中に緊急放送を受信した場合は、その時点での時刻が設定されて緊急放送が流れます。
- * 操作を1分間放置すると、設定前の時刻に戻ります。

注意 本体に強い衝撃を与えないください。時計がリセットされることがあります。時計がリセットされた場合は、時刻を再設定してください。

③ラジオを聴く

本機は、初期設定として事前に放送局(周波数)がチャンネル登録されています。登録されているチャンネルから聴きたい放送局(周波数)を選んでください。

●コミュニティFMの周波数は1ch(チャンネル)に登録されています。

※初期設定で登録されている周波数は自治体により異なります。

※新規にチャンネル登録することができます。新規のチャンネル登録については、裏面「4. チャンネルの設定」をご参照ください。

- ラジオ ON/OFF** 緊急放送OFF
- 1 ラジオOFFの状態(時刻表示時)でラジオON・OFFボタンを押してください。ラジオがONになり、液晶部には、チャンネル番号表示後に周波数が表示されます。
 - 2 選局ボタンを押して、お好みの放送局を選んでください。
 - 3 FM放送局を聞くときにはロッドアンテナ、AM放送局を聞くときには、本製品の向きで明瞭に聞こえるように調節します。→裏面「受信 - アンテナの調節」参照
 - 4 ラジオの聴取を終了するときは、ラジオON・OFFボタンを押してください。緊急放送はラジオOFFでも自動で放送状態になります。
- ※コミュニティFM放送局以外の放送局を受信した後は、必ずコミュニティFM放送局が良好に受信できるようにアンテナを調節してからラジオをOFFにしてください。

④音量を調節する

- ラジオ、緊急放送の音量は「+」「-」で調節してください。液晶部に音量が表示され、1(最小)～16(最大)までの設定が可能です。
- * ラジオOFFのときは音量の設定はできません。
 - * 「+」「-」を2秒以上長押しすると、数字が早く変化します。
 - * 音量設定後に2秒間放置すると、周波数表示に戻ります。

④コミュニティFM放送局の放送がよく聞こえる所に設置しましょう

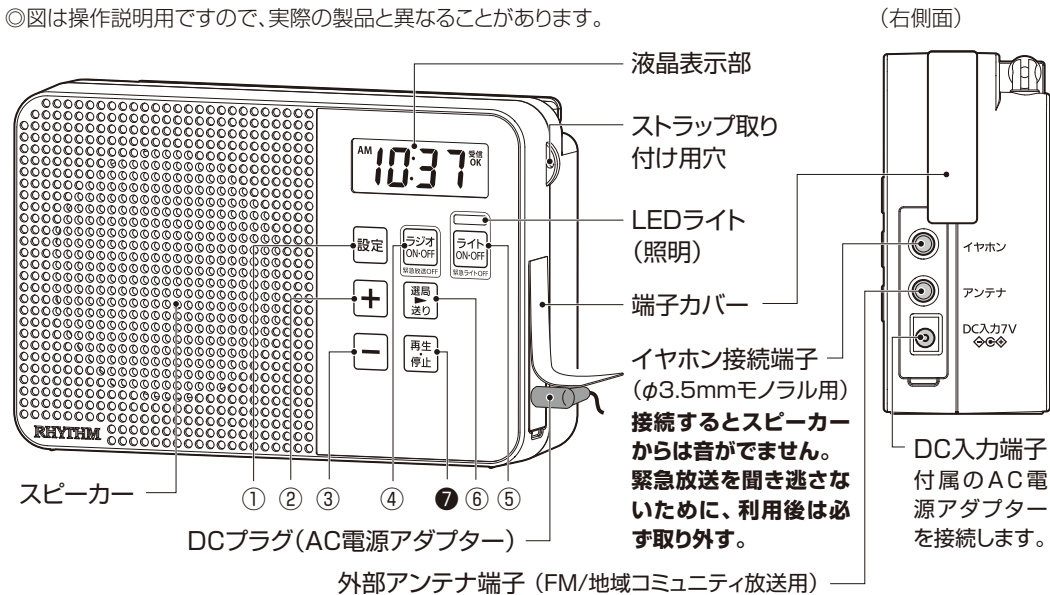
- 1 アンテナを伸ばし、登録チャンネル1chのコミュニティFM放送局を選局してください。
 - ラジオ受信中に「選局」ボタンを2秒以上長押しすると、1chへ直接移動します。
※受信感度は液晶部右上の「受信OK」マークで確認できます。
感度良好→「受信OK」マーク点灯
感度不良→「受信OK」マーク点滅
 - 2 アンテナの向きや角度を調節して、放送が明瞭に聞こえるようにします。
 - 3 音の大きさは、音量設定(+/-)で調節します。
- 緊急放送は、コミュニティFM放送局から送信されます。
 - コミュニティFM放送局の送信所または中継局がある方向の窓際が受信しやすいです。
 - 受信しやすいために、パソコンやテレビ、照明機器などの家電製品から離してください。
 - 地震などの振動で転倒、落下ないように設置してください。

⑤緊急放送を受信したとき

- ラジオOFFの状態でも、液晶部に1chの周波数が表示され、LEDライトと液晶部のバックライトが点滅して、設定された音量で緊急放送が流れます。緊急放送が終わると、緊急放送前の状態に戻ります。
- ラジオを聴いていたときは、緊急放送前の放送局に戻ります。
- 緊急放送時、以下のボタン操作で緊急放送の状態が変化します。
「+」「-」ボタン⇒音量の大小調節
ライトON・OFFボタン⇒緊急ライトOFF
ラジオON・OFFボタン⇒緊急放送とバックライト点滅のOFF
 - 15分間緊急放送状態が続くと、緊急放送前の状態に戻ります。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の製品と異なることがあります。



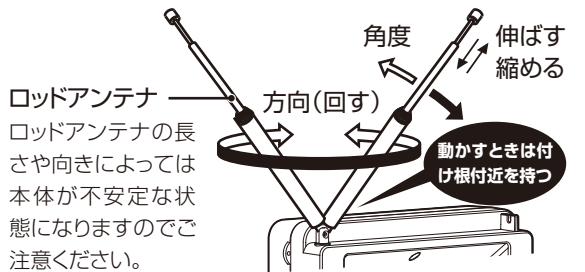
(正面操作部)

- ①設定 時刻やラジオの周波数を合わせるときに使用。
- ②+ 時刻やラジオの周波数を設定するときに使用。
- ③- ラジオ受信中は音量の切替。ラジオのON/OFFに使用。緊急放送受信中はOFFにする。
- ④ラジオON・OFF ラジオのON/OFFに使用。緊急放送受信中はOFFにする。
- ⑤ライトON・OFF ライトのON/OFFに使用。緊急ライト点灯中はOFFにする。
- ⑥選局 登録チャンネルの選局に使用。
- ⑦再生・停止 自動録音された緊急放送の再生と停止に使用。

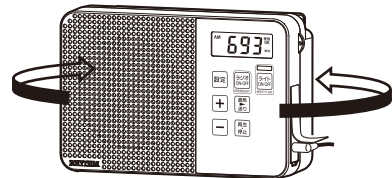
液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

受信 - アンテナの調節

緊急放送、FM放送：ロッドアンテナを調節して明瞭に聞こえるようにする。



AM放送：本体を回して明瞭に聞こえるようにする



1. 電源の取り扱い

必ず付属のAC電源アダプターを、家庭用電源(交流100V)に接続して使用してください。また、電池は、停電など非常時に備えるため、必ずセットしてご使用ください。

AC電源アダプター

- 付属以外のAC電源アダプターを使用しないでください。
- ノイズの影響を受ける原因になるので、パソコンや家電製品と一緒にコンセントを使わないでください。
- AC電源アダプターを使用中に停電になるとLEDライトが点灯します。停電が復旧するとLEDライトは消灯します。電池がセットされていないか、電池切れのときは、LEDライトは点灯しません。

電池

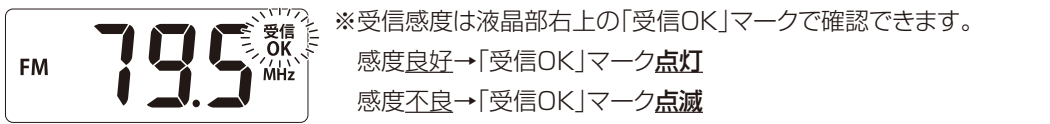
- 異なる種類、古い電池と新しい電池を混ぜないでください。
- 電池の残量が少なくなると、液晶部に電池マークが点滅表示されます。電池マークが点滅したら、すぐに新しい単3形アルカリ乾電池にすべて取りかえてください。放置すると、電池からの液漏れによる故障や緊急放送を聞き逃す原因になります。
 - * 乾電池をセットせずにAC電源アダプターのみを接続している場合、電池マークが点滅し続けます。
- 通常は、AC電源アダプターを必ず使用してください。緊急時など、乾電池のみで使用したあとは、必ずすべて新しい電池に交換してください。
- 電池を使用しない場合でも、毎年1回、定期的に新しい電池に交換してください。



2. 緊急放送の待機と受信

緊急放送の受信準備

緊急放送は、コミュニティFM放送局から送信されますので、送信所または中継所がある方向に面した窓際に設置して、コミュニティFM放送局の選局ボタンを押して、よく聞こえるようにアンテナを調節します。⇒ [受信 - アンテナの調節](#) 参照



- * 表記の周波数は表示例です。登録されているコミュニティFM局は自治体により異なります。
- * お住まいの構造(鉄筋、鉄骨)や周囲の環境(ビルなどの建物、道路の交通量など)によっては、明瞭に放送が聞こえないことがあります。このようなときには、設置場所を変えてみてください。

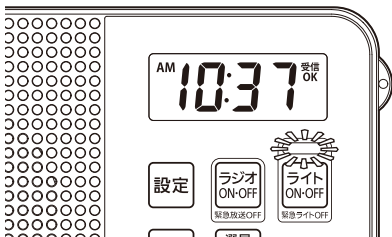
緊急放送を受信すると

LEDライトと液晶部のバックライトが点滅状態になって、設定された音量で放送が流れます。緊急放送が終わると、自動的に放送前の状態に戻ります。

- * 緊急放送が終わっているのに、元の状態に戻らないときには、ラジオON・OFFボタンを押してください。
- * 緊急放送の音量は設定されていますので、音量を調節したいときは、「+」「-」ボタンで調節してください。

3. ライト機能

LEDライトを使用するときは、ライトON・OFFボタンを押してください。ライトを正面から見つめると、目を痛めることがありますのでご注意ください。



停電を検知

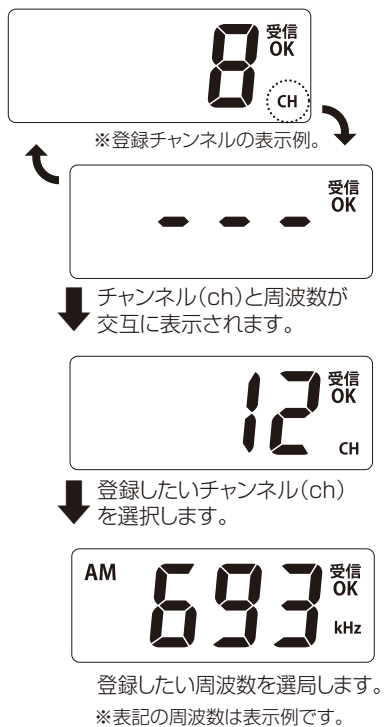
ACアダプター使用時にACアダプターからの給電がなくなったとき、LEDライトが点灯して停電状態をお知らせします。

- AC電源からの給電がなくなると、乾電池からの給電に切り替わります。乾電池が組み込まれていない場合は機能しませんので、必ず乾電池を入れてご使用ください。

4. チャンネルの設定

お好みの周波数をチャンネル登録することができます。初期設定では、1chにコミュニティFMの周波数が登録されているほかに、各自治体により異なるAM/FMの放送局が事前に登録されています。初期設定と合わせ、登録できるチャンネルは12個です。登録された周波数は1～12chとして表示されます。

- * 初期設定で登録されている周波数は自治体により異なります。
- * 初期設定で登録されているチャンネルは書き替えできません。



- 1 ラジオの受信状態(ラジオON)のときに「設定」ボタンを2秒以上長押しすると、登録可能なチャンネルが周波数と1秒間隔で交互に表示されます。
 - * 周波数が未登録の場合は、周波数の表示は - - - となります。
- 2 「+」「-」ボタンで、登録したいチャンネル(ch)を選択してください。「設定」ボタンを押すと確定されます。
 - * 「+」「-」ボタンを2秒以上長押しすると、周波数がアップ・ダウンしてオートサーチします。
 - * 周波数は、AM531～1620⇔ - - - ⇔FM76.0～95.0⇔ - - - ⇔AM531…の順番で表示されます。周波数をクリアする場合は、 - - - を選択してください。
 - * 登録したチャンネルは内部回路に記憶されますので、電源供給がなくなっても消去されません。
 - * 操作中に1分間放置すると設定前の表示に戻ります。
 - * チャンネル登録中に緊急放送を受信した場合は、緊急放送が優先され緊急放送が流れます。
- 3 「+」「-」ボタンで、登録したいチャンネルの周波数を選局してください。「設定」ボタンを押すと確定して登録されます。

5. イヤホンの利用

φ3.5mmモノラルミニジャック仕様のイヤホンをご用意ください。イヤホンをイヤホン端子に接続すると、スピーカーからは音が出なくなります。**注意：緊急放送を聞き逃す恐れがありますので、イヤホン使用後は、必ず取り外してください。**

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

[9ZQA36のみ] 緊急放送を自動録音・再生する

9ZQA36には、緊急放送の自動録音・再生する機能が付属されています。「選局」ボタンの下の「再生・停止」ボタンで録音された放送を確認することができます。緊急放送時に自動で録音を開始しますので、外出などで緊急放送を聞き逃しても緊急放送の内容を帰宅時に確認することができます。

- * AM/FMラジオなど任意の放送を録音することはできません。

再生

- 再生・停止 緊急放送が録音されると、「再生・停止」ボタンが赤色LEDで点滅します。「再生・停止」ボタンを押すと、未再生の放送が再生されます。再生中は「再生・停止」ボタンが赤色LEDで点灯します。
 - * 録音件数が複数ある場合は、未再生の新しい放送から再生されます。
 - * 未再生の録音は少しでも再生すると再生済みと認識します。未再生の録音がない場合は、赤色LEDは消灯します。
- 選局送り 再生中に「選局」ボタンを押してすぐ離すと、順送りで再生します。最後の録音を再生すると、再生が終了します。

停止

再生中に「再生・停止」ボタンを押すと再生が停止します。停止中5秒以内に「再生・停止」ボタンを押すと、聞いていた録音放送が最初から再生されます。5秒以上経過した後は、再生前の状態に戻り、再生を終了します。

録音時間

最大で15分間録音することができます。録音時間が上限に達した場合は放送が継続していても録音を停止します。

- * 上限に達した後に緊急放送を再度受信すると、新しい放送が上書きで録音されます。

録音件数

最大で15件まで録音することができます。録音件数が上限に達した場合は、古い録音データから上書きしていきます。液晶部には録音件数(左)と再生中の録音番号(右)が表示されます。

- * 録音時間の合計が上限(15分間)に達している場合は、録音件数が15件に満たない場合があります。



防水性能に関する注意事項

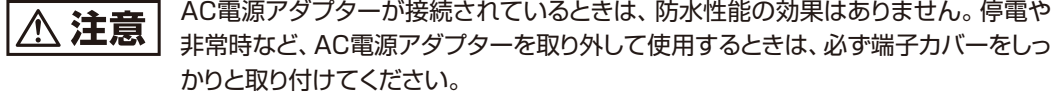
ご使用前に「防水性能に関する注意事項」をよくお読みください。記載内容を守らずに使用すると故障の原因になります。

- * 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

防水性能について

電池ふたや端子カバーをしっかりと取り付けた状態で保護等級 JIS IPX4 (防沫形) 相当の防水性能を有しております。

- * IPX4は水の飛沫に対する保護規定で、あらゆる方向から5分間散水を行い、浸水がないことを確認します。
- * 製品の防水性能は、真水と水道水に対応しています。



ご使用にあたっての重要事項

- 水しぶきがかかる場所でも使用できる仕様になっていますが、**完全防水ではありません**。故障の原因になりますので、以下の点について十分ご注意ください。
 - スピーカーの丸い穴を突かないでください。防水性が失われます。
 - スピーカー一部に水が入った場合には、さかさまにして水を出してください。
 - 以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。防水性を低下させます。
 - 例.石けん、洗剤、入浴剤などの入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯、薬品など。
 - 水に浮かべたり、水中で使用しないでください。また、故意に水をかけないでください。
- * 水にぬれた手でのボタン操作はできません。
 - 多量の水がかかったり、水中に落ちたときには、すぐに乾いた布でよく水分を拭き取ってください。
 - 浴室、サウナ、岩盤浴など高温、多湿になる所では使用しないでください。
 - 寒い所から暖かい場所に持ち込むときは、製品が常温になってから持ち込んでください。急激な温度変化があると製品内部で結露が発生して、さびの発生や回路、電池のショートによる故障の原因になります。
 - 電池の交換は、水分をよく拭き取って、湿気の少ない所で行ってください。
 - 製品を分解しないでください。
 - 防沫用パッキンの防水効果は徐々に低下します。劣化の進行は使用環境により異なります。

故障かな?と思ったら

修理・お問い合わせの前に、つぎのことをご確認ください。

- ①電源が入らない
 - AC電源アダプターをコンセントおよび本製品にしっかり差し込む。
 - 電池を使用している場合は、新しい電池を正しい向きに入れる。
- ②音が出ない
 - イヤホンを端子から抜く。
 - 外部アンテナが誤ってイヤホン端子に差し込まれていないか確認する。
 - 音量を調節する。
- ③緊急放送を受信しているのにノイズが多く聞き取れない
 - 同じ周波数帯で、放送よりも強いノイズ電波があるようです。アンテナの向きや設置場所を変えてください。
- ④雑音が入る
 - 家電製品やOA機器、携帯電話などのノイズが影響していると考えられます。これらの機器から離して使用してください。
 - 大出力の無線機を積んだ車輪が通過したときなどに雑音が入る場合があります。
- ⑤放送がうまく受信できない
 - FM放送……ロッドアンテナの長さ、向き、角度を調節してください。
 - AM放送……本製品の向きを変えてください。
- ⑥AM/FM/緊急放送が受信できない
 - 送信所や中継所からの距離や地形、建物の構造などにより電波の強さが変わります。同じ部屋の中でも、場所によって変わる場合がありますので、設置位置を変えてみてください。
 - 電池では受信するのにAC電源アダプターを使用すると受信できないことがあります。これは電波が弱い場合に、AC電源アダプターおよびAC電源コードの影響によるロッドアンテナの同調のずれやAC電源コードからのノイズの影響などが原因と考えられます。他のAC電源コードと絡まないようにしてコンセントを変えると改善されることがあります。改善されない場合、外部アンテナの利用をお勧めします。